議題1：無電柱化の推進について（豊田市提出）

市 名		各 市 の 状 況
1	名古屋市	本市では、昭和61年度以降、国が策定した無電柱化に関する中期的な整備計画に基づき、主に名駅や栄などの市内中心部や地域の骨格となる幹線道路で整備を進めてきました。近年では、南海トラフ巨大地震による甚大な被害の発生が懸念されることから、都市の防災機能の強化を図るため、第1次緊急輸送道路を中心に無電柱化の整備を進めています。今後は、現在国が策定中の次期無電柱化計画と整合を図りながら、本市の無電柱化計画を策定していきたいと考えています。 また、事業費のコスト縮減に向けて、従来の管路方式（1管1条共用FA活用方式）における埋設深さや管路材料の見直し等の検討を行うとともに、平成29年3月に策定された「道路の無電柱化低コスト手法導入の手引き（案）」に基づく低コスト手法の導入に向けて、中部ブロック内の国・県・政令市が参加する「無電柱化検討勉強会（仮称）」において、小型ボックス活用埋設の具体的な設計方法等について検討を行っているところです。今後、電線管理者とも調整を図りながら、順次、低コスト化手法による整備を導入し、無電柱化の推進を図っていきたいと考えています。
2	豊橋市	本市における無電柱化計画路線の整備は、平成21年度までに完了しております。
3	岡崎市	本市におきまして、無電柱化に関する計画の策定状況は、平成19年に策定した「岡崎市無電柱化基本計画」に基づき無電柱化の整備を進めてきましたが、本市の主幹事業である「乙川リバーフロント地区整備計画」や歴史的風致維持向上計画策定に向けた取り組みや国による無電柱化の推進に関する法令の制定を見据え、平成27年度に計画の見直しを行いました。また、建設コスト縮減及び工期短縮などの取組は、管材比較によるコスト縮減に努め、電力・通信事業者による設備工事には、電線類地中化工事と同調して行うことで掘削の2度手間を避け工期短縮を図っています。
4	一宮市	一宮市においては、平成28年度に1路線整備が完了したことにより、9路線7.30km（内市事業は6路線1.39km）が整備されました。 今後の整備計画につきましては、「無電柱化の推進に関する法律」の施行を受け、愛知県の無電柱化推進計画の策定状況等を見極めながら、一宮市の無電柱化推進計画（県計画と整合を図りたい）を策定していきたいと考えております。 また、建設コスト縮減や工期短縮については、「無電柱化を推進する市区町村長の会」の勉強会等により情報収集を図っていこうと考えております。
5	瀬戸市	瀬戸市では、平成11年度に景観整備基本計画を策定し、尾張瀬戸駅周辺において、県市道あわせて約1340mの無電柱化を実施していますが、以降、施工に要する費用などの課題もあり、新たな計画策定も含め無電柱化に苦慮している状況です。
6	半田市	景観形成重点地区や、ユネスコ無形文化遺産の登録された地区で、無電柱化を検討している箇所があり、平成29年1月に「無電柱化を推進する市区町村長の会」に参加しました。無電柱化推進計画の策定については、国や県の動向を見て検討を進めていきたいと考えています。
7	春日井市	事例なし
8	豊川市	市として独自の計画は策定していません。また、電線の地中化について市事業の実績がないため、建設コスト縮減、工期短縮に係る具体的取り組み事例はありません。
9	津島市	無電柱化の必要性は認識しておりますが、限られた財源の中では他の道路整備が優先されるため、現段階では無電中化の予定はありません。
10	碧南市	第2期無電柱化推進計画において2,950mを位置付けており、整備済み1,110m、合意区間（施工中）540m、調整区間（未着手）が1,300mです。 平成27年度から31年度（予定）にかけて施工中の主要地方道岡崎碧南線については、設計を平成25年度に実施しているため、「電線等の埋設物に関する設置基準」の緩和による浅層埋設等のコスト縮減については実施しておらず、今後も設計を変更する予定はありません。

議題1：無電柱化の推進について（豊田市提出）

市 名		各 市 の 状 況
11	刈谷市	本市では、平成20年度に「刈谷駅周辺無電柱化整備計画」を策定し、現在3路線で整備を進めています。 無電中化の工事は、電線事業者や道路占用者との連係を密に図ることにより、道路拡幅工事やバリアフリー化工事に併せて施工すること、電線事業者と施工可能な箇所は出来る限り同調施工することで建設コスト縮減や工期短縮を図っています。
12	豊田市	提出市
13	安城市	無電柱化推進計画に記載された路線について、関係者との合意形成を図り進めています。
14	西尾市	「無電柱化の推進に関する法律」において、市町村は計画を定めるよう努めなければならないことは承知しています。本市では今のところ、計画は定められていませんが、今後は愛知県が定める計画を基本として策定していきます。 コスト縮減につきましては、共同溝の敷設に支障となる埋設管（通信ケーブル）を所有者と協議の上で有償譲渡してもらい、新設の共同溝に取り込むことで、移設費を大幅に削減しました。（既存ストックの有効活用を図るための固定資産の譲渡） また、効率的な事業推進として、接続する県道と同調して施工しており、今後、入線及び抜柱を同時に行うことで電線管理者の手間を削減するとともに、周辺の交通規制を最小限にする予定です。
15	蒲郡市	本市所管の市道においては、現在、2路線について無電柱化が実施されております。1路線は蒲郡駅南にある商業施設周辺の市道で、整備延長は約120mです。もう1路線はラグーナ蒲郡地区内にある市道で整備延長は約2,300mです。市内には歩道幅員が十分でない等、既存道路には無電柱化に適する市道が少ないため、新たな面的整備の計画に合わせて無電柱化を推進していく必要があります。第二期無電柱化推進計画の未整備箇所として、区画整理地内の蒲郡南駅前広場がありますが、整備時期については未定です。また、過去に施工した区画整理地内の無電柱化工事において、建設コスト縮減、工期短縮において目立った取組はおこなっていないのが現状です。
16	犬山市	犬山市は城下町地区を中心に一定の整備が完了し、今後の計画としては、現時点ではありません。城下町は幅員が狭い車道での無電柱化であったため、特殊部の基礎コンクリートを現場打ちではなく、二次製品を採用し工期短縮することで住民生活への影響をできるだけ抑えることとしました。
17	常滑市	常滑市には空港開港時に併せて開発された空港対岸部の一部に、景観重点地区として無電柱化を推進し形成した地区があります。しかしながら、従来からの市街地においての無電柱化に関する計画については、検討を進めているものの今現在未策定であります。無電柱化には多額の費用を要することが想定されることから、特に財政面において苦慮しております。
18	江南市	江南市においては、5路線で延長1.0kmの無電柱化を計画している。まちづくりにおける無電柱化の必要性は理解しているが、厳しい財政状況の中、実現性については不確実な情勢である。本市では過去に実施した例がなく、事業化に向け、電線管理者との調整や住民との合意形成の方策に関する知識が乏しく、対応に苦慮している。今後、無電柱化を進めていく上で参考とするため、各市における実施状況および具体的な事例をご教示いただきたい。

議題1：無電柱化の推進について（豊田市提出）

市 名		各　市　の　状　況
19	小牧市	まず、無電柱化に関する計画の策定状況につきましては、無電柱化の推進に関する法律の第八条に、市町村は計画を定めるよう努めなければならないとされていますが、その計画は国又は県の計画を基本とするとなっているため、国が計画策定に向け実施している、無電柱化推進のあり方検討委員会の議論を見守っているところであります。次に、建設コスト縮減につきましては、事業推進の大きな障害となっており、国によって実施されている調査研究、技術開発等を注視しているところであります。最後に、工期短縮の取り組みについてですが、本市においては、無電柱化事業区間について道路の整備に併せ施工することにより、不用意な掘り返しを防ぎ、工期短縮に努めております。
20	稲沢市	稲沢市における無電柱化の取り組みとしましては、過去にJR稲沢駅東地区において区画整理事業に併せて実施した1例だけとなります。ここ10年ほどは実施した事例も無く、いまのところ計画もありません。そのため、議題にあるようなコスト縮減や工期短縮などの取り組みも特にありません。
21	新城市	新城市では、無電柱化に関する計画は未策定であり、コスト縮減、工期短縮等の取り組みはありません。
22	東海市	市全体の無電柱化計画は策定していませんが、市の中心市街地の駅周辺や旧市街地の狭あい道路における無電柱化に取り組んでいます。 駅周辺においては、一般的なC・C・BOXによる整備を実施していますが、旧市街地の狭あい道路部については、低コスト化を意識し、小型ボックスを採用した無電柱化を予定しています。 工期の短縮化については、沿線住民への影響を極力少なくするよう、今年度、施工ステップの検討を予定しています。
23	大府市	本市においては現在、計画の策定は予定していませんので具体的な取り組みも特にありません。
24	知多市	現在無電柱化の推進の計画なし。
25	知立市	道路管理者としましては、現在、無電柱化に関する計画策定、建設コストの縮減及び工期短縮等の取り組みについて、実施していません。無電柱化の推進に関し国、県、近隣市及び先進市などの動向を見極め、国が策定する次期無電柱化推進計画等を参考とし、この地域の実情に応じた無電柱化に関する施策、具体的な実施路線の選定、整備手法、整備費用などの財政状況等も踏まえ、国、県及び電気・通信事業者と協議及び連携をしながら、必要に応じて今後調査・研究していきたいと考えます。 区画整理事業施行者としましては、知立駅周辺土地区画整理事業区域内において、6路線（延長940m）の無電柱化を計画しています。計画策定状況につきましては、電線共同溝予備設計を実施し、道路管理者及び電気・通信事業者と協議を進める予定です。また、建設コスト縮減や工期短縮につきましては、今後詳細設計の中で検討を進める予定です。
26	尾張旭市	本市では、無電柱化に関する計画は策定していません。本市としても、防災面や良好な景観の形成には重要な施策として認識しており、建設コスト縮減や工期の短縮などについて、情報収集に努めたいと考えています。
27	高浜市	本市において、無電柱化計画の予定は現在ありません。 今後、未整備区間の都市計画道路の整備や景観形成などの事業計画が生じた際、地元住民に意向確認の上、無電柱化等も検討していきたい。
28	岩倉市	岩倉市では、無電柱化を行い街路を整備する予定がありますが、まだ無電柱化に関する計画を策定するまでに至っておらず、準備にも着手できていない状況であります。今後、計画を策定していくにあたり、岩倉市におきましても参考となる取組について情報提供をいただきながら進めていく予定であります。
29	豊明市	豊明市において無電柱化に関する計画はありません。

議題1：無電柱化の推進について（豊田市提出）

市 名		各 市 の 状 況
30	日進市	本市における無電柱化は、米野木駅前特定土地区画整理事業による米野木駅前地区、株山特定土地区画整理事業による香久山地区の一部、民間開発による赤池町村東地区の計3箇所で、既に完成しています。現時点においては、それ以外の計画はありません。
31	田原市	今まで、田原市では都市計画道路事業における新設道路整備に合せて整備路線の無電柱化を進めてきたが、新設道路ということで沿道の土地利用が未定のまま無電柱化整備を行うことでの課題があった。 今後は景観計画や道路改良計画等を踏まえ、合せて無電柱化の検討も図りたいと考えているが時期等は未定である。また、建設コストの縮減や工期短縮などの取組事例は無いので、先進地の事例等を今後の参考にしたいと考えている。
32	愛西市	現時点では、無電柱化の取り組みは行っていません。
33	清須市	本市においても、区画整理事業計画等の際に検討をするものの、事業進捗を優先するため、電柱化に関する計画は未策定です。 今後、先進地の事例を参考に検討していきたいと考えております。
34	北名古屋市	本市の都市計画マスタープランでは、都心核（西春駅周辺）及び副都心核（徳重・名古屋芸大駅周辺）は都市景観に配慮し、電線類地中化することが位置付けられております。 現在、一部事業化に向け検討中ではありますが、県道に係る箇所となり、市として、建設コスト縮減、工期短縮等の取組みを検討しておりません。 今後、必要に応じ検討を進めたいと考えております。
35	弥富市	無電柱化の計画路線は1路線ありますが、計画策定については、未定であります。
36	みよし市	本市においては、現在のところ無電柱化に関する計画の策定予定はありません。 なお、市内には民間開発により無電柱化を実施した事例が1地区あります。
37	あま市	計画策定の予定なし
38	長久手市	長久手市も「無電柱化を推進する市区町村の会」に参加しており、将来の無電柱化の推進に向け、県内の先進事例の視察などを行い、情報収集・研究等を行っている段階です。